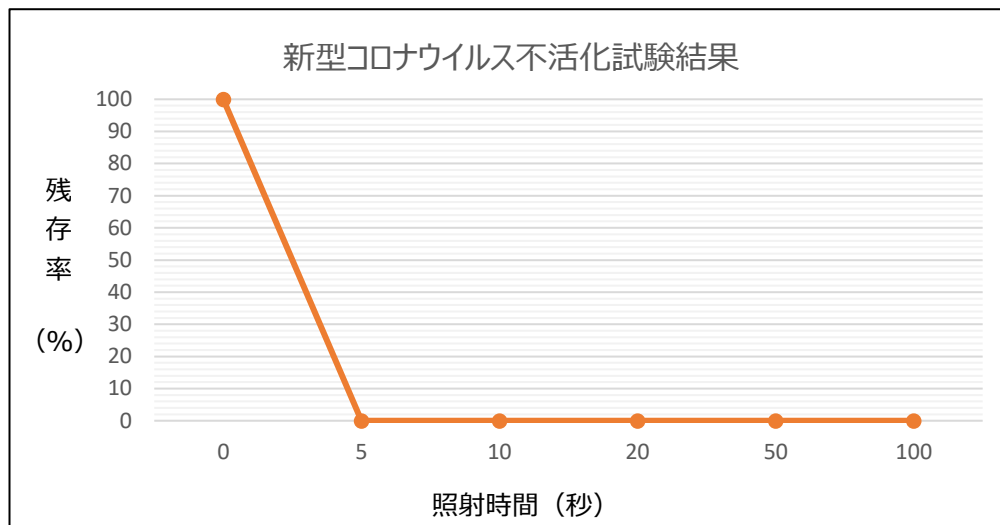


新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）への深紫外線照射効果試験

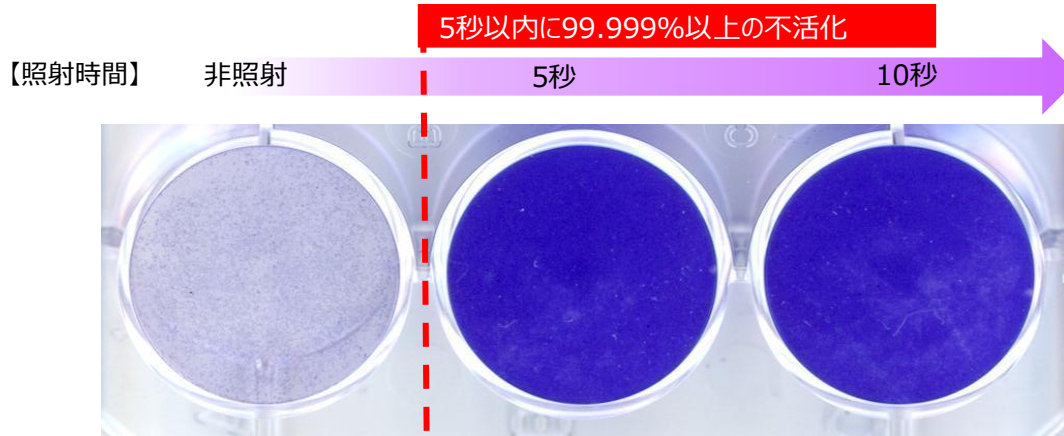
- 実施日： 2020年9月15日
- 実施機関： 認定特定非営利活動法人バイオメディカルサイエンス研究会
- 使用光源： 276nm/350mA/55mW 深紫外LED
- 使用ウイルス： SARS-CoV-2
- 試験方法： シャーレにウイルス希釈液を投入し、深紫外LEDを一定時間照射。照射後、ウイルスカ価をプラーク法にて測定。
- 試験結果： **5秒以内に99.999%以上の不活化を確認**



水準	時間 (秒)	ウイルスカ価 (pfu/ml)	残存率 (%)
276nm@350mA 中心照度：2.6 mW/cm ² (距離50mm)	0	128000	100.00000%
	5	≤1	0.00078%
	10	≤1	0.00078%
	20	≤1	0.00078%
	50	≤1	0.00078%
	100	≤1	0.00078%

■深紫外線の照射による新型コロナウイルス不活化の様子

(青色はウイルスが不活化して感染力を失ったことを示す)



以上